

倉敷中央病院 創立100周年

「患者本位」理想受け継ぐ

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構が運営し、「倉中」と呼ばれ市民らに親しまれている倉敷中央病院(倉敷市美和)が2日、100周年の節目を迎えた。「患者本位」の医療を理想とした創立者・大原孫三郎氏の思いを受け継ぎ、幅広い診療科をそろえ、最新の医療機器を積極的に導入。岡山県西部の急性期医療を支える拠点として存在感を増している。

地域と歩み、貢献続ける

公益財団法人大原記念
倉敷中央医療機構理事長 浜野 潤氏



倉敷中央病院は今年で100周年を迎えました。これもひとえに倉敷中央病院をご利用いただいた患者の皆さまやご家族はもとより、医師会をはじめ、さまざまな面で当院を支えていただきました地域の皆さまのお力添え、行政や企業などのご助力によるものと、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

100年の時を刻むことができたのは地域の皆さまの倉敷中央病院に対する信頼のおかげです。倉中なら高度で先進的な医療を受けられる、重篤な病気であっても倉中なら何とかしてくれるという信頼感があつたからこそ、当院を選んでいただけたのだと思います。医療の分野でも技術革新は猛烈なスピードで進展しています。私たちは100周年を機に決意を新たに世界水準の質の高い医療を求めて果敢に挑戦を続け、地域の皆さまにより良い医療を提供し続ける所存です。

創立者大原孫三郎氏が最もこだわったのが、病院らしくない明るい病院をつくることでした。当院を訪れた方が皆さん驚かれるのが、この病院の居心地の良さです。私たちも創立者の志を大事に引き継ぎ、アメニティに配慮した「快適に過ごせる」病院づくりを進めてきました。これからは施設や機能のみならず患者の皆さまやご家族の心を通じ合う医療、人の心を大事にする医療に取り組みまいります。

人生100年時代を迎え、老若男女が健康で心豊かに人生を送るためには、良い病院が不可欠です。地域に活力がある、住民が生きてよかった生活を送っているということ、その地域に良い病院があるということは、どちらが欠けてもうまくいきません。倉敷中央病院は地域とともに歩み続ける病院として、地域のために貢献してまいります。

当院は地域医療の担い手である医療機関と連携し、お互いが得意なところを伸ばしあいながらともに発展していく地域医療のネットワーク作りを進めています。患者の皆さまはまず身近な医療機関で診療を受け、必要な場合には倉敷中央病院で治療を受け、また身近な医療機関に戻るといった形で負担感が少なく切れ目のない医療を受けることができます。こうしたネットワークができれば地域のどこにいても安心して生活していただけるのではないのでしょうか。

倉敷は文化のまち、工業のまちなどさまざまな顔を持っていますが、これからの100年を見据えると、倉敷中央病院と医療機関、医療関係企業などが集積した「医療のまち倉敷」ができればと考えています。今後とも引き続き、倉敷中央病院への変わりぬご協力ご支援をお願い申し上げます。



倉敷中央病院の歩み

- 1923年 大原孫三郎氏が①社長を務める倉敷紡績の従業員とその家族の健康を守る②市民にも医療の恩恵を広めて貧困と病気の悪循環を断ち切る③18年に大流行したスペイン風邪で多数の市民が亡くなった惨状を繰り返さないよう、広く市民にも開放して最新の医療を提供する
- 40～50年代 戦時中は傷病者救援のための医療提供や救護班の出勤、戦後は結核病棟などを整備し、感染症治療に尽力する
- 63年 疾病構造変化への対応の遅れから衰退傾向となった状況に歯止めをかけるため経営体制を刷新。医師の確保や診療体制の充実、最新技術の導入など、大きな方針転換を果たす。創立40周年記念式典で、第2代理事長大原謙一郎氏が50周年に向けて再興への意欲と決意を表明する
- 75年 石油ショックを乗り越え、692床を備える大型病棟の第1棟が完成
- 85年 大原謙一郎氏が第5代理事長に就任(現在は大原記念倉敷中央医療機構理事・会長)。以後、地域医療の要として急性期医療の特化、世界水準の医療の質を目指す
- 97年 日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審、認定
- 2012年 高度急性期医療に対応する424床の第3棟が完工
- 16年 国際的な医療機能評価機関のJCIに初認証
- 19年 予防医療プラザがオープン
- 20年～ 新型コロナウイルス感染症に対して、中等症以上の入院患者に対応。流行期には確保病床を超える状況でも、最後の砦として受け入れを行った



中国銀行

〒700-8628 岡山市北区丸の内1-15-20
この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

赤みがかった蒸気は、病が特徴的な倉敷中央病院の建物群(中央)。病気のケアではなく、人としてケアをする「全人医療」の理念に基づき、温室をはじめ癒やしの環境を整備している。



目に見えないちょっとした空気の流れが、明日の天気をはらりと変えていくように、ひとの気持ちも、暮らしも、そして未来も、目に見えないちょっとしたものから静かに変えていく。そう信じて、今日もクラレでは、社員のひとりひとりが素材とひとつひとつ向き合い続けています。私たちの信念で、技術で、アイデアで、新しい便利さや、心地よさや、楽しさや、すこしでも必要としてくれるひとに届けたい。どうか、あなたの明日も、ハレますように。



KIKURABO

大原孫三郎の志を今に伝える 記念館

2023年3月に一部リニューアルしました

G7倉敷労働雇用大臣会場で見学されました

クラボウ第2代社長 大原 孫三郎

倉敷市本町7番1号(JR倉敷駅より徒歩15分・倉敷アイビスクエア内) TEL (086) 422-0011
●公開時間 AM.10:00～PM.4:00 ●入館料 個人:一般300円/学生250円

<https://www.kurabo.co.jp/museum/>

倉紡記念館